

no.	絵師名	作品名	制作年	判型・技法	寸法(cm)	版元
114	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	天保元-3年(1830-32)頃	横大判錦絵	26.0×38.4	西村屋与八
115	葛飾北斎	諸国滝廻り 下野黒髪山きりふりの滝	天保3-4年(1832-33)頃	大判錦絵	37.6×25.7	西村屋与八
116	葛飾北斎	諸国名橋奇覧 東海道岡崎矢はぎのはし	天保4-5年(1833-34)頃	横大判錦絵	26.0×38.7	西村屋与八
117	葛飾北斎	雪月花 隅田	天保4-5年(1833-34)頃	横大判錦絵	25.7×38.3	西村屋与八
118	葛飾北斎	雪月花 淀川	天保4-5年(1833-34)頃	横大判錦絵	25.7×38.3	西村屋与八
119	葛飾北斎	雪花月 吉野	天保4-5年(1833-34)頃	横大判錦絵	25.1×37.8	西村屋与八
120	葛飾北斎	詩哥写真鏡 清少納言	天保4-5年(1833-34)頃	長大判錦絵	49.2×21.7	森屋治兵衛
121	魚屋北溪	諸国名所 伊豆千貫樋	天保5-6年(1834-35)頃	横大短冊判錦絵	17.8×38.7	西村屋与八、 中村屋勝五郎
122	魚屋北溪	諸国名所 武蔵野	天保5-6年(1834-35)頃	横大短冊判錦絵	17.5×38.3	西村屋与八、 中村屋勝五郎
123	窪俊満	とりかへばやものがたり 御丁のかたびら	文化(1804-18)期	色紙判錦絵(摺物)	20.3×17.8	
124	岳亭	大阪天満宮祭礼之図	天保4-5年(1833-34)頃	横大判錦絵	24.4×34.9	
125	岳亭	一陽連江戸名所見立十二支 巳池の端	文政(1818-30)後期	色紙判錦絵(摺物)	21.0×18.7	
126	岳亭	一陽連江戸名所見立十二支 戌目黒	文政(1818-30)後期	色紙判錦絵(摺物)	21.0×18.7	
127	初代歌川国貞	大坂道頓堀芝居楽屋ノ図	文政4年(1821)	大判錦絵3枚続	各38.3×76.5	西村屋与八
128	歌川国芳	風俗女水滸伝 百八番之内 林沖	文政(1818-30)末期	色紙判錦絵(摺物)	21.3×18.6	
129	歌川国芳	れっぷでん 加賀千代	天保14-弘化2年 (1843-45)頃	团扇判錦絵	17.5×23.2	伊場屋仙三郎
130	歌川国芳	かごのとりますめいりどき	弘化2-3年(1845-46)頃	团扇判錦絵	19.1×25.1	伊場屋久兵衛
131	初代歌川広重	東都名所 亀戸天満宮境内雪	天保3-5年(1832-34)頃	横大判錦絵	25.1×37.8	佐野屋喜兵衛
132	初代歌川広重	諸国名所 宇治川ほとりかたの図	天保6-7年(1835-36)頃	团扇判錦絵	22.2×29.5	伊場屋仙三郎
133	初代歌川広重	氷上の鷺鷥	天保3-6年(1832-35)頃	中短冊判錦絵	37.8×13.0	
134	初代歌川広重	鴨	天保3-6年(1832-35)頃	中短冊判錦絵	37.8×12.5	川口屋正藏
135	初代歌川広重	忠臣蔵 八段目	天保6-8年(1835-37)頃	横大判錦絵	25.4×37.5	和泉屋市兵衛
136	初代歌川広重	富士川上流の雪景	天保13年(1842)頃	大判縦2枚続	72.4×23.8	佐野屋喜兵衛
137	初代歌川広重	六十余州名所図会 阿波 鳴門の風波	安政2年(1855)	大判錦絵	36.2×24.4	越村屋平助
138	初代歌川広重	名所江戸百景 深川木場	安政3年(1856)	大判錦絵	35.1×23.5	魚屋栄吉
139	初代歌川広重	名所江戸百景 深川洲崎十万坪	安政4年(1857)	大判錦絵	36.5×24.4	魚屋栄吉
140	(諸家)	千社札貼込帖	天保-慶応(1830-68)期	5帖	(a)29.5×19.4 (b)29.4×19.1 (c)29.7×19.2 (d)29.5×19.4 (e)29.5×19.2	

第V章 上方の錦絵 流光斎・長秀 ありのままに描く

141	北尾雪坑斎	『彩色画選』	明和4年(1767)	大本3冊	各27.0×17.3	波川大藏、 河南四郎衛門、 須原平祐
142	翠笠亭	『翠笠亭戯画譜』	天明2年(1782)	大本1冊	26.2×16.4	
143	流光斎如圭	初代尾上新七の一色結城守	寛政5年(1793)	細判錦絵	32.7×14.3	塩屋長兵衛
144	流光斎如圭	二代目助高屋高助の黒船忠右衛門	文化2年(1805)頃	紙本着色	19.7×13.5	
145	松好斎半兵衛	二代目嵐三五郎のこそべの友春	寛政7年(1795)	細判錦絵	31.9×14.6	塩屋長兵衛
146	松好斎半兵衛	三代目目村歌右衛門の花園みちつね	文化3年(1806)	細判錦絵	30.5×17.5	塩屋長兵衛
147	蘭好斎	七代目片岡仁左衛門のから木政右衛門、 初代嵐猪三郎のいしどめ武助	文化8年(1811)	細判錦絵2枚続	30.3×13.5、 29.8×12.7	塩屋長兵衛
148	有楽斎長秀	二代目嵐吉三郎の猿まはし与次郎	寛政10年(1798)	細判合羽摺	34.7×14.9	柏屋宗七
149	有楽斎長秀	二代目沢村田之助のこし元千鳥	文化4年(1807)	八角团扇判合羽摺	26.9×26.4	未詳版元
150	絵師未詳	俳優姿錦絵	天保3-6年(1832-35)頃	大判錦絵	37.5×25.1	浪華書林 地本問屋

春信 一番!
錦絵誕生250年
Exhibition on the 250th Anniversary of the Birth of Ukiyoe
写楽 二番!
フィラデルフィア美術館浮世絵名品展
Ukiyo Masterpieces from the Philadelphia Museum of Art: Featuring Hokusai, Sharaku, and More

10月10日(土) - 12月6日(日)
[展覧会公式HP] <http://pma2015.jp/>
主催 あべのハルカス美術館、読売新聞社
協賛 朝日新聞社、岩谷産業、大和ハウス工業、
ダイワボウ情報システム、非破壊検査
協力 日本航空

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

※ 本作品リストは図録の作品番号順に掲載しています。

no.	絵師名	作品名	制作年	判型・技法	寸法(cm)	版元
第I章 錦絵以前 浮世絵版画の始まり						
1	絵師未詳	朝鮮人曲馬の図 十二	天和3年(1683)	横大判墨摺絵	26.4×38.4	河内屋理兵衛
2	大森善清	「よろひ桜」より「紅葉狩」	元禄15-16年(1702-03)頃	墨摺画帖のうち1図	25.9×35.2	金屋平右衛門
3	初代鳥居清信	二代目市川团十郎の鳴神上人と 中村竹三郎の雲の絶間姫	正徳5年(1715)	大判丹絵	41.3×27.3	
4	二代鳥居清信	二代目市川团十郎の不破の伴左衛門と 初代瀬川菊次郎のふれいの一かく	享保19年(1734)	細判紅絵(漆絵)	32.7×15.1	伊賀屋勘右衛門
5	二代鳥居清信	げんじ五十四まいのうち 第三十九番 夕露	享保(1716-36)期	横細判漆絵	15.7×33.8	和泉屋権四郎
6	二代鳥居清信	伊勢物語 初段「みちのく」	享保(1716-36)期	横細判漆絵	16.7×32.1	井筒屋忠左衛門
7	二代鳥居清信	今ややくしゃふう	寛保(1741-44)期	細判紅絵	32.9×14.9	伊勢屋金兵衛
8	二代鳥居清信	はいかい五色ずみ 初代市村亀藏の 金五郎と初代佐野川市松の小さな	延享4年(1747)	細判紅摺絵	24.4×14.9	
9	奥村政信	風雅火鉢無間鐘浮絵根元	延享(1744-48)期	横大判墨摺筆彩	29.4×43.8	奥村屋源六
10	奥村政信	芝居狂言舞台顔見せ大浮絵	延享2年(1745)	丈長奉書全紙判 墨摺筆彩	44.5×66.7	奥村屋源六
11	奥村政信	半装束美人揃 小野の小町	延享・寛延(1744-51)期	細判紅摺絵	31.4×14.3	奥村屋源六(推定)
12	奥村利信	富沢門太郎の茶屋宗兵衛女房おすて	元文2-5年(1737-40)頃	細判漆絵	32.2×15.4	奥村屋源六
13	鳥居清広	雀捕り	宝暦(1751-64)期	大判紅摺絵	43.2×31.1	丸屋小兵衛
14	初代鳥居清満	初代佐野川市松の宗の井	宝暦(1751-64)後期	細判紅摺絵	29.5×14.0	丸屋小兵衛
15	初代鳥居清満	四代目市川团十郎の四郎兵衛忠信	宝暦11年(1761)	細判紅摺絵	31.0×14.0	丸屋甚八
第II章 錦絵の誕生 春信の浮世絵革命						
16	鈴木春信	若侍の身支度	明和2年(1765)	中判錦絵	27.9×21.3	
17	鈴木春信	花魁道中	明和3年(1766)頃	中判錦絵	27.6×21.1	
18	鈴木春信	水売り	明和2年(1765)	中判錦絵	27.3×19.4	
19	鈴木春信	やつし芦葉達磨	明和2-4年(1765-67)頃	中判錦絵	27.6×21.0	
20	鈴木春信	そうめん干し	明和3-5年(1766-68)頃	中判錦絵	27.3×20.6	
21	鈴木春信	五常 智	明和4年(1767)	中判錦絵	27.8×20.8	
22	鈴木春信	三十六歌仙 藤原元真	明和4-5年(1767-68)頃	中判錦絵	27.6×20.6	
23	鈴木春信	三十六歌仙 在原業平朝臣	明和4-5年(1767-68)頃	中判錦絵	28.4×21.1	
24	鈴木春信	やつし那須与一	明和3-5年(1766-68)頃	中判錦絵	27.3×20.6	
25	鈴木春信	笛を吹く若衆	明和4年(1767)頃	中判錦絵	27.3×19.8	
26	鈴木春信	伊勢物語 武蔵野	明和4年(1767)頃	中判錦絵	27.9×22.2	
27	鈴木春信	綿摘み娘と少年	明和4-7年(1767-70)頃	中判錦絵	27.5×20.8	

no.	絵師名	作品名	制作年	判型・技法	寸法(cm)	版元
28	鈴木春信	夜の訪れ	明和4年(1767)頃	中判錦絵	27.6×21.3	
29	鈴木春信	馬上の若衆	明和4-5年(1767-68)頃	中判錦絵	28.6×21.0	
30	鈴木春信	六玉川 井出の玉川	明和5-6年(1768-69)頃	中判錦絵	27.9×21.0	
31	鈴木春信	六玉川 井出の玉川(後摺)	明和5-6年(1768-69)頃	中判錦絵	27.1×19.7	
32	鈴木春信	後朝の別れ(見立羽衣)	明和4-6年(1767-69)頃	中判錦絵	28.6×21.0	
33	鈴木春信	遊女と客(林間燧酒焼紅葉)	明和5年(1768)頃	中判錦絵	27.5×20.6	
34	鈴木春信	拳遊び(やつし王質)	明和5-6年(1768-69)頃	中判錦絵	27.0×21.3	
35	鈴木春信	松千歳の契り	明和5-6年(1768-69)頃	中判錦絵	28.4×21.3	
36	鈴木春信	風流五色墨 咫尺	明和5年(1768)頃	中判錦絵	26.7×19.1	
37	鈴木春信	風俗四季哥仙 五月雨	明和5年(1768)頃	中判錦絵	27.6×21.0	
38	鈴木春信	鼓を打つ若衆	明和5年(1768)頃	中判錦絵	27.3×20.6	
39	鈴木春信	蚊帳を吊る母子	明和5-6年(1768-69)頃	中判錦絵	26.7×19.2	
40	鈴木春信	お波お初	明和6年(1769)	中判錦絵	28.6×21.3	
41	鈴木春信	浮世美人寄花 路考娘 瞿麦	明和5-6年(1768-69)頃	中判錦絵	28.3×21.0	
42	鈴木春信	浮世美人寄花 南の方 松坂屋内野風 藤	明和5-6年(1768-69)頃	中判錦絵	27.9×21.0	
43	鈴木春信	湖水の月(石山寺の紫式部)	明和4-7年(1767-70)頃	細判錦絵	31.8×14.9	
44	鈴木春信	文を受け取る遊女	明和(1764-72)後期	中判錦絵	28.3×20.3	
45	鈴木春信	『絵本春の錦』	明和8年(1771)	半紙本2冊	各21.9×15.6	山崎金兵衛
46	絵師未詳	やつし三酸	明和3年(1766)	中判錦絵	27.9×21.0	
47	絵師未詳	山中、童子に問う女(尋隠者不遇)	明和(1764-72)後期	中判錦絵	26.7×19.7	
48	磯田湖龍齋	風流長哥八景 白たえの暮雪	安永元年(1772)頃	中判錦絵	26.4×19.8	
49	磯田湖龍齋	遠眼鏡を見る男女	安永2年(1773)頃	中判錦絵	26.4×19.8	
50	磯田湖龍齋	雛形若菜の初模様 角玉屋内みやと	安永4-5年(1775-76)頃	大判錦絵	37.1×24.4	西村屋与八
51	絵師未詳	鴨を襲う鷹	安永・天明(1772-89)期	正面版筆彩	87.9×27.3	
52	歌川豊春	浮絵十二段管弦の図	明和4-6年(1767-69)頃	横大判錦絵	26.4×40.5	松村弥兵衛
53	歌川豊春	浮絵深川永代涼の図	安永元年(1772)頃	横大判錦絵	24.8×37.5	西村屋与八
54	一筆斎文調	遊女花菊	明和(1764-72)末期	細判錦絵	28.9×13.7	
55	一筆斎文調	初代中村野塩の白拍子伝御前	明和7年(1770)	細判錦絵	32.1×14.3	
56	一筆斎文調	二代目市川八百蔵	明和(1764-72)後期	細判錦絵	31.8×15.2	
57	伝・一筆斎文調	花見の男女	明和6-7年(1769-70)頃	横中判錦絵	20.6×27.0	
58	勝川春章	二代目市川八百蔵の曾我十郎	安永元年(1772)	細判錦絵	32.5×13.7	未詳版元
59	勝川春章	二代目嵐三五郎の工藤祐経	安永6年(1777)	細判錦絵	32.4×15.2	
60	勝川春章	初代中村仲蔵の寺岡平右衛門	安永8年(1779)	細判錦絵	31.8×14.6	
61	勝川春章	忠臣蔵十一枚続 六だんめ	安永(1772-81)後期	中判錦絵	25.7×19.4	
62	勝川春好	二代目市川八百蔵の桜丸	安永5年(1776)	細判錦絵	32.7×14.9	
63	勝川春英	初代浅尾為十郎の寺岡平右衛門、 五代目市川團十郎の大星由良之助	寛政元年(1789)	細判錦絵2枚続	各32.4×14.3	
64	勝川春英	忠臣蔵 九段目	寛政2年(1790)頃	中判錦絵	25.7×19.7	西村屋与八
65	北尾重政	今様鑑絵尽 ほうらくのまい	安永(1772-81)期	小判錦絵	21.9×15.6	
66	北尾重政	やつし八景 粟津晴嵐	安永(1772-81)前期	中判錦絵	26.4×19.7	
67	北尾重政	恵比寿と子ども	安永(1772-81)期	大判錦絵	39.1×26.5	村田屋治郎兵衛
68	北尾政演	当世艶風拾形図 遊女・芸者と廻しの女	天明(1781-89)・ 寛政(1789-1801)初期	中判錦絵	25.7×18.4	
第三章 錦絵の展開 清長・歌麿・写楽 みずみずしい美人と個性的な役者たち						
69	鳥居清長	四季八景 菊秋后月	安永(1772-81)後期	中判錦絵	24.9×19.1	西村屋与八
70	鳥居清長	山王御祭礼 平川町 山本町 四季の華まんど	安永9年(1780)	中判錦絵	25.7×18.6	西村屋与八
71	鳥居清長	菖蒲の池	天明(1781-89)中期	大判錦絵2枚続	各36.0×24.4	高津屋伊助
72	鳥居清長	吉原の花見	天明5年(1785)	大判錦絵3枚続	各39.4×25.2	西村屋与八
73	鳥居清長	源成之の席書	天明3年(1783)	大判錦絵	37.1×24.4	西村屋与八

no.	絵師名	作品名	制作年	判型・技法	寸法(cm)	版元
74	鳥居清長	子宝五節遊 重陽	寛政(1789-1801)中期	大判錦絵	38.4×25.7	葛屋重三郎
75	鳥居清長	三代目沢村宗十郎と送りの女	天明3-4年(1783-84)頃	細判錦絵	32.4×14.9	
76	勝川春潮	秀句合四季之花 水仙	天明(1781-89)・ 寛政(1789-1801)初期	中判錦絵	25.1×19.1	
77	勝川春潮	江都八景 角田川	天明(1781-89)・ 寛政(1789-1801)初期	中判錦絵	26.4×19.7	
78	勝川春潮	五節句 雛祭 丁子屋内巻の戸 このも かのも	寛政3-4年(1791-92)頃	大判錦絵	36.5×25.1	和泉屋市兵衛
79	初代喜多川歌麿	高名美人見立車引	寛政5年(1793)頃	小奉書全紙判錦絵	33.0×42.9	山伝
80	初代喜多川歌麿	歌撰恋之部 稀ニ逢恋	寛政5-6年(1793-94)頃	大判錦絵	34.9×25.2	葛屋重三郎
81	初代喜多川歌麿	青楼七小町 鶴屋内篠原 しのぶ うたの	寛政6-7年(1794-95)頃	大判錦絵	37.8×24.9	泉佐
82	初代喜多川歌麿	娘日時計 午ノ刻	寛政6-7年(1794-95)頃	大判錦絵	36.2×25.6	村田屋治郎兵衛
83	初代喜多川歌麿	江戸六玉顔 此君業に賢し	享和2年(1802)頃	大判錦絵	36.0×24.3	山口屋忠右衛門・ 忠助
84	初代喜多川歌麿	八百屋お七 小姓吉三郎	享和3年(1803)頃	大判錦絵2枚続	各40.2×26.0	鶴屋喜右衛門
85	鳥文斎栄之	福人宝合 弁財天	寛政6年(1794)頃	大判錦絵	37.3×25.2	西村屋与八
86	鳥文斎栄之	見立山桜 丁子や千山	寛政8年(1796)頃	大判錦絵	38.7×26.4	岩戸屋喜三郎
87	鳥文斎栄之	浄瑠璃十二段草子	寛政9-11年(1797-99)頃	大判錦絵5枚続	各37.8×24.1	西村屋与八
88	鳥高斎栄昌	めんないちどり	寛政6-8年(1794-96)頃	大判錦絵3枚続	各39.5×26.0	和泉屋市兵衛
89	磯川亭永理	越前屋内 和国	寛政(1789-1801)後期	大判錦絵	37.9×24.8	丸屋文右衛門
90	栄松斎長喜	忠臣蔵八段目の図 三代目瀬川菊之丞の 戸無瀬と四代目岩井半四郎の小浪	寛政6年(1794)頃	間判錦絵	32.9×23.0	鶴屋喜右衛門
91	東雲	坂東亀次郎のお筆	寛政(1789-1801)末・ 享和(1801-04)期	大判錦絵	39.8×24.4	未詳版元
92	東洲斎写楽	初代大谷徳次の奴袖助	寛政6年(1794)	大判錦絵	37.8×25.1	葛屋重三郎
93	東洲斎写楽	三代目沢村宗十郎の大岸藏人	寛政6年(1794)	大判錦絵	34.4×23.2	葛屋重三郎
94	東洲斎写楽	三代目瀬川菊之丞の 田辺文藏女房おしづ	寛政6年(1794)	大判錦絵	36.0×24.1	葛屋重三郎
95	東洲斎写楽	谷村虎蔵の鷲塚八平次	寛政6年(1794)	大判錦絵	34.6×23.0	葛屋重三郎
96	東洲斎写楽	三代目大谷鬼次の江戸兵衛	寛政6年(1794)	大判錦絵	36.8×23.0	葛屋重三郎
97	東洲斎写楽	四代目岩井半四郎の重の井	寛政6年(1794)	大判錦絵	38.1×25.6	葛屋重三郎
98	東洲斎写楽	初代尾上松助の松下造酒之進	寛政6年(1794)	大判錦絵	35.9×24.1	葛屋重三郎
99	東洲斎写楽	三代目市川高麗蔵の志賀大七	寛政6年(1794)	大判錦絵	37.8×24.8	葛屋重三郎
100	東洲斎写楽	四代目松本幸四郎の山谷の 肴屋五郎兵衛	寛政6年(1794)	大判錦絵	38.1×25.1	葛屋重三郎
101	東洲斎写楽	天王子屋里虹 (二代目山下金作の大内屋仲居 まび蔵おかね実は貞任女房岩手)	寛政6年(1794)	間判錦絵	31.8×21.6	葛屋重三郎
102	東洲斎写楽	碁盤を持ち上げる大童山	寛政7年(1795)	大判錦絵	39.1×25.2	葛屋重三郎
103	初代歌川豊国	三代目瀬川菊之丞のお染と 松本米三郎の久松	寛政8年(1796)	大判錦絵	39.1×26.0	山伝
104	初代歌川豊国	風流芸者身振姿絵 はまむらや路考	寛政9-10年(1797-98)頃	大判錦絵	37.9×24.8	葛屋重三郎
105	初代歌川豊国	御殿の奥座敷	寛政4-5年(1792-93)頃	大判錦絵3枚続	各38.1×24.9	西村屋与八
106	歌川豊広・ 初代歌川豊国	堀之内妙法寺恵方参の図	寛政12年(1800)頃	大判錦絵5枚続	各36.8×23.8	松安
第四章 錦絵の成熟 北斎・広重 旅への憧れ、花鳥への眼差し						
107	溪斎英泉	江戸音曲歌合 新曲高尾懺悔	文政(1818-30)後期	大判錦絵	37.9×25.6	未詳版元
108	溪斎英泉	娼妓三幅対 玉屋内小式部	文政(1818-30)後期	大判錦絵	38.1×25.7	未詳版元
109	溪斎英泉	今様美人十二景 愛走がよきそう 金龍山浅草寺	文政5-6年(1822-23)頃	大判錦絵	38.1×25.7	和泉屋市兵衛
110	葛飾北斎	東海道五十三次 日本橋	文化4-5年(1807-08)頃	中判錦絵	23.2×17.5	伊勢屋利兵衛
111	葛飾北斎	東海道五十三次 蒲原	文化4-5年(1807-08)頃	中判錦絵	23.2×17.5	伊勢屋利兵衛
112	葛飾北斎	雪中松に鶴	天保4年(1833)頃	長大判錦絵	50.5×23.0	森屋治兵衛
113	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三鳥越	天保元-3年(1830-32)頃	横大判錦絵	27.0×38.7	西村屋与八